

いま
変化する現代を勝ち抜く企業クラウド #1
情報活用のレベルを高めるSaaS『Eiplaza®』

東芝ソリューション株式会社
プラットフォームソリューション事業部 商品企画部 参事 小林俊彦

東芝グループは、持続可能な
地球の未来に貢献します。

eco スタイル

Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

東芝ソリューション株式会社
TOSHIBA SOLUTIONS CORPORATION

東芝ソリューションのご紹介

アジェンダ

1. 東芝ソリューションのご紹介
2. 変化に対応しながら企業が成長し続けるためには
3. クラウドがもたらす情報活用の新たなカタチ
4. 情報活用のレベルを高めるSaaS『Eiplaza®』のご紹介
5. まとめ

Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

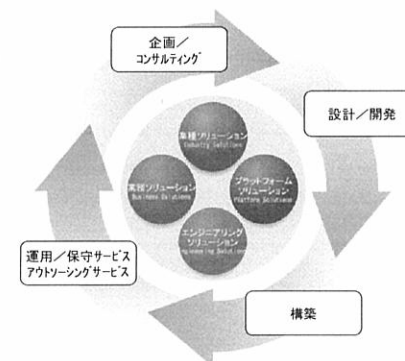
2

会社概要

東芝ソリューション株式会社

- 2003年10月に株式会社東芝から機能分社
- 4つのソリューション領域(業種ソリューション、共通業務ソリューション、エンジニアリングソリューション、プラットフォームソリューション)を
コンサルテーションから運用までのライフサイクル全般にわたって提供

- 資本金 235億円(東芝100%)
- 従業員数 5,100人(単独)
11,000人(グループ)
(2011年4月現在)
- 拠点数 国内:14拠点
海外:1拠点



東芝ソリューションのクラウドへの取り組み(1) クラウドソリューションの概要

TSOLクラウドソリューション 『Collaborative Computing®』



Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

5

◆クラウドインテグレーション

- プライベートクラウド環境の構築、ハイブリッドクラウド環境でのアプリケーション構築などを行う。
- システムの導入フェーズから、構築、運用までをカバーする。

◆クラウドサービス

- 業界や東芝グループで実績のある自社アプリを中心にSaaS商品をラインアップする。
- 他社SaaSともサービス連携をして提供する。

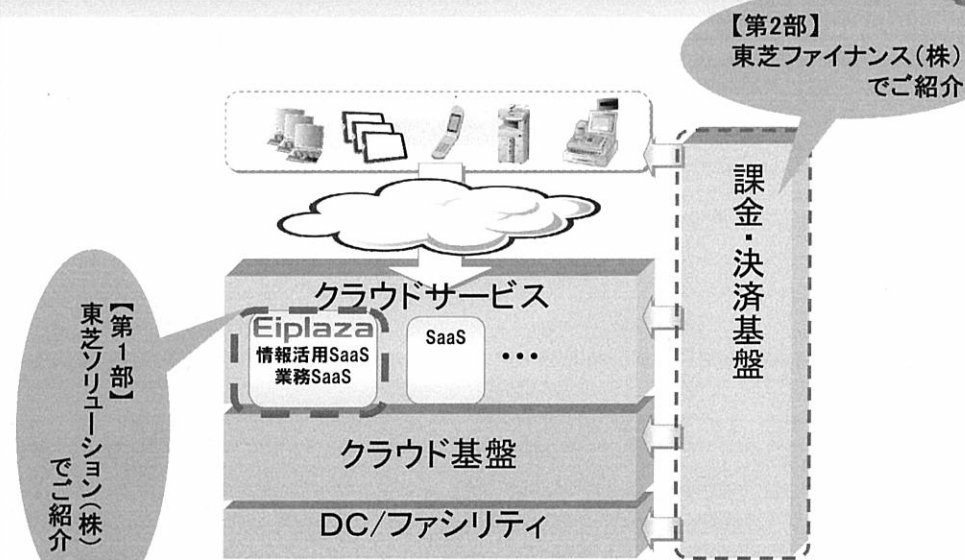
◆クラウド基盤

- 高品質・高信頼化、低コスト化のため基盤を一元化し、技術開発やサービスノウハウを結集して提供する。
- 自社アプリのSaaSは自社基盤上に集約して提供する。

◆データセンターサービス

- 自社DCを拡充して、高信頼のクラウドサービスを提供するためのファシリティを運用提供する。
- 客先ニーズに応じたサービスを提供する。

本日のセミナー



Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

6

変化に対応しながら企業が成長し続けるには

急速に変化する企業環境

市場環境

- ・競争の激化(グローバル競争)
- ・新興国の台頭
- ・消費低迷
- ・嗜好の多様化
- ・金融不安
- ・100年に1度の危機

社会環境

- ・震災の影響 (計画停電、サプライチェーン、...)
- ・環境問題
- ・法規制の新規導入、変更
- ・少子化
- ・国家の破綻

- ・事業規模拡大
- ・利益拡大
- ・グローバル対応
- ・コスト削減(経費削減、業務効率化)
- ・BCP
- ・コンプライアンス遵守
- ・M&A(企業合併・買収)

企業環境の変化に
柔軟に対応しながら、
成長し続けなければならない!

企業

Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

7

Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

8

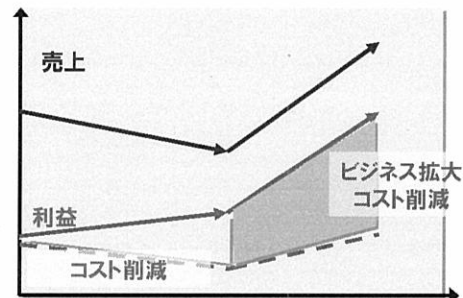
変化に柔軟に対応して成長を続けるためには

現状

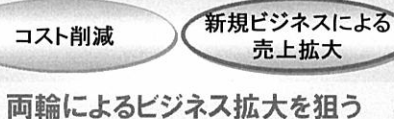
多くの企業は売上が落ち込む中、コスト削減で利益を出している。
例) 経費削減、業務効率化、...

コスト削減ではない利益の創出

新規ビジネスによる売上の拡大！



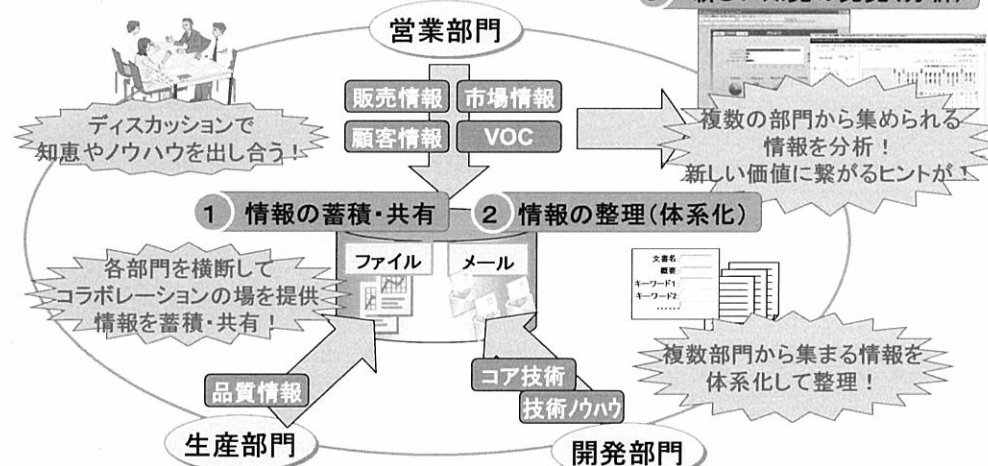
企業が成長し続けるために



企業内における新規ビジネスのための新しい価値の創造

複数の部門が一体となり、ノウハウを終結することで、新しい価値を創造！
～バリューイノベーションへの挑戦！～

3 新しい知見の発見(分析)



新しい価値の創造のために 東芝ソリューションが提供してきた情報活用ソリューション

東芝ソリューションは、新しい価値の創出を支援する情報活用ソリューションを提供してきた。

新しい価値の創出

1 情報の蓄積・共有

複数の部門を横断してコミュニケーション・コラボレーションを行い、情報を蓄積・共有できる仕組み。

2 情報の整理(体系化)

成果物はキーワード(属性)を設定し、再利用性を高めて管理。成果物だけでなく、至った経緯や背景までを紐付けて管理。

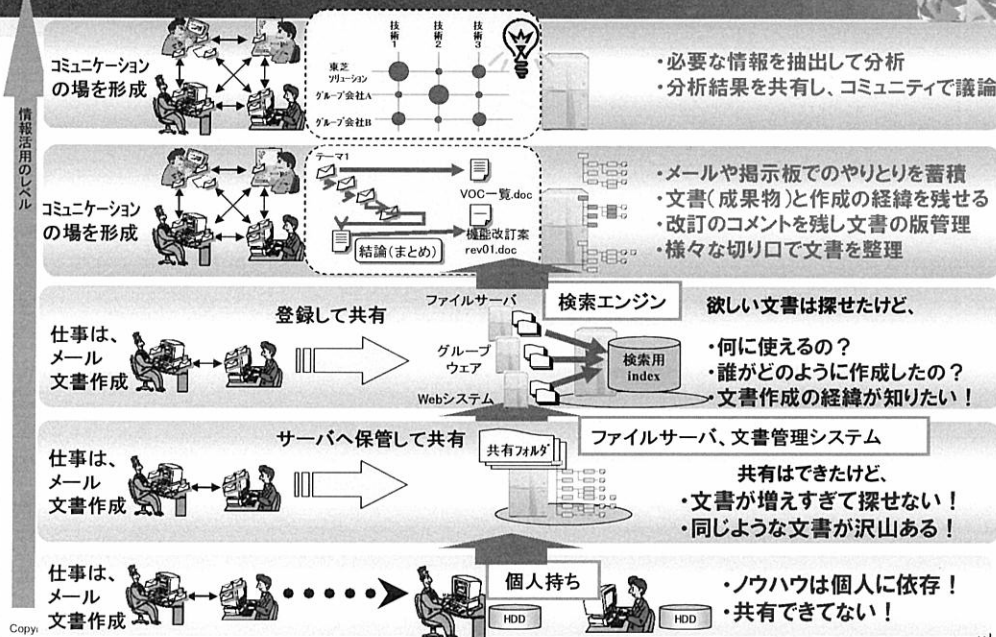
3 新しい知見の発見(分析)

蓄積した情報を分析してイノベーションのヒントを発見するための仕組み。



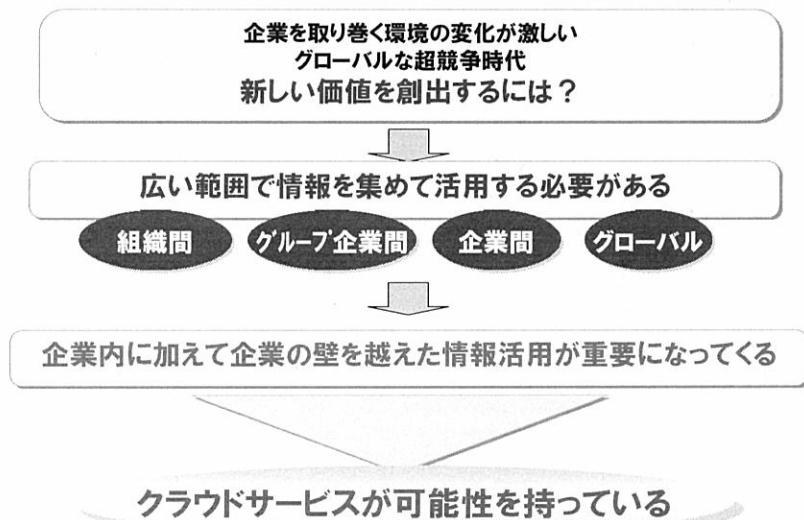
クラウドがもたらす情報活用の新たなカタチ

企業における情報活用のレベル

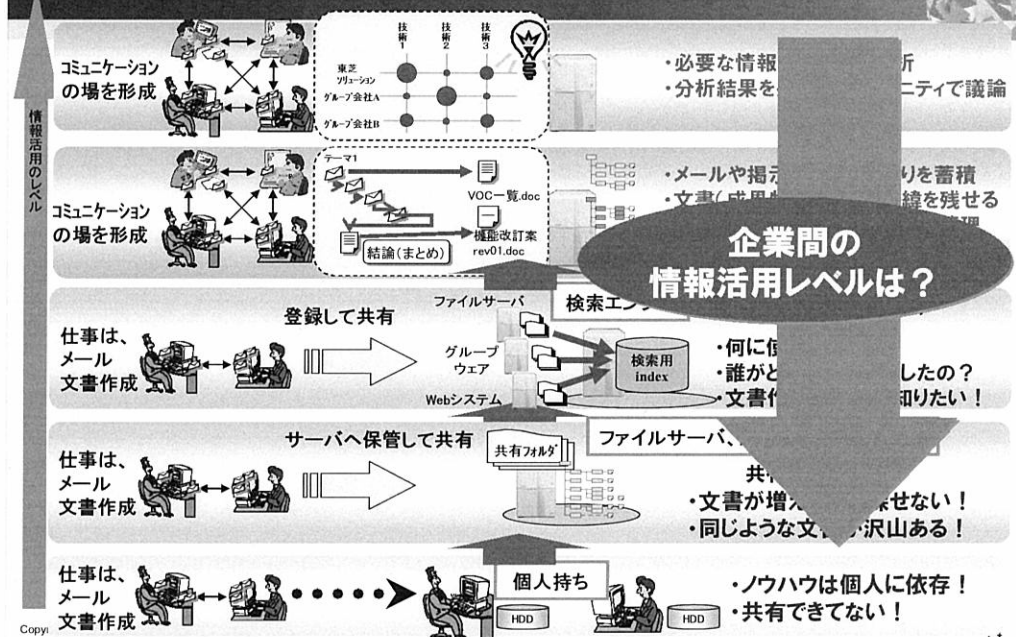


Copy

いま 現代の時代の情報活用とは?

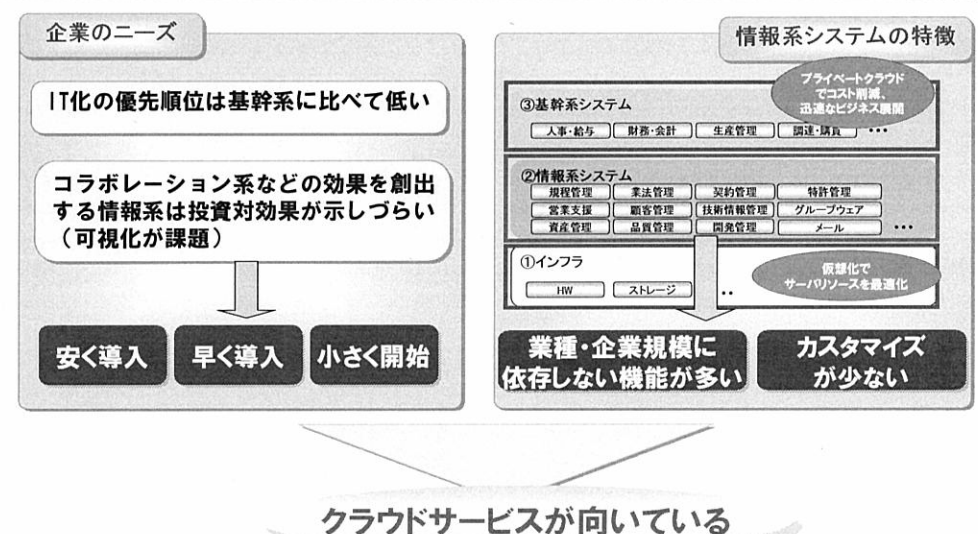


企業における情報活用のレベル



Copy

企業のニーズと情報系システムの特徴



クラウド時代の情報活用とは

クラウドを活用し、情報活用のレベルを高めることで、超競争時代を勝ち抜く！

企業の壁を越えたコラボレーション

企業間でも情報を蓄積・共有できる場が必要
企業間でのメールのやりとりを後から参照できる形で蓄積

情報共有・蓄積
幅を広げる

多様化する要求への迅速な対応

膨大、多様化する情報の効率的な整理が必要
議論経緯もしっかり管理。情報の追加・更新に合わせて柔軟に整理。

情報の整理(体系化)
スピードの向上

幅広い(専門外含む)情報から新しい価値の創出

様々な切り口からの情報の分析が必要
分析の専門家でない誰もが、簡単に、素早く、様々な切り口で分析

新しい知見の発見(分析)
洞察を深める

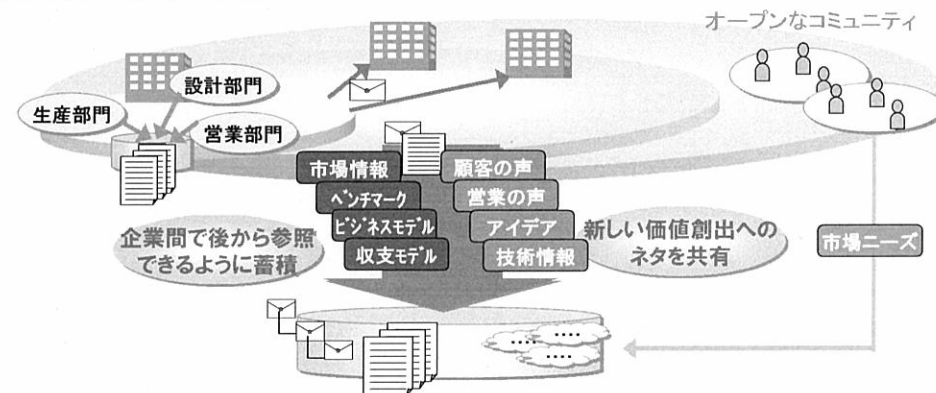
企業の壁を超えたコラボレーション

情報共有・蓄積
幅を広げる

企業間で情報の共有・蓄積ができるコラボレーションの場が必要

社内でのコラボレーション
メール・リスト・掲示板・
文書管理

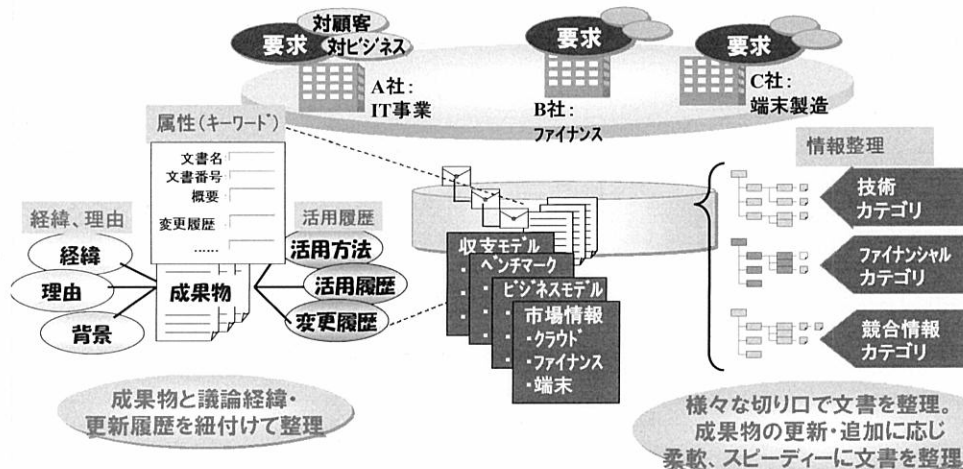
企業間でのコラボレーション
メール・掲示板・文書管理を共有



多様化する要求への迅速な対応

情報の整理(体系化)
スピードの向上

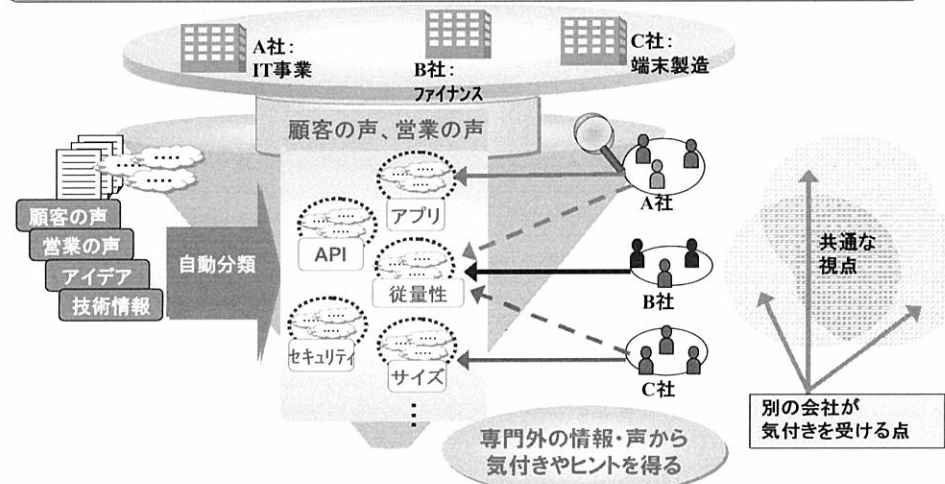
要求は多様化。集まる情報も膨大、多様化。
企業間で発生する多様な要求に対し、迅速・柔軟に情報を整理する仕組み



幅広い情報から新しい価値の創出

新しい知見の発見(分析)
洞察を深める

膨大、多様な情報から、各企業が様々な視点で分類・分析。
専門家でない誰もが、簡単に、素早く、様々な視点でヒントを見つける仕組み。



情報活用のレベルを高める 東芝ソリューションのSaaS Eiplaza®

Eiplaza® のラインアップ

Eiplaza

●情報活用SaaS

長年培ったコア技術である
日本語処理、自然言語処理、
認識技術、XML技術などを
ベースに、オフィス業務の基本である
情報活用機能をサービス化

●業務SaaS

東芝グループで実証されている
さまざまな業務ノウハウや、
当社で培った運用ノウハウを
サービス化

Eiplaza

業務SaaS

規程・業務マニュアル管理	特許管理
業法管理	特許包袋管理
契約書管理	問合せ管理
技術情報管理	トラブル管理
営業支援	アンケート集計・分析
顧客管理	

情報活用SaaS

文書管理	コミュニティ	翻訳
文書診断	分類・分析	ファイル共有

官公庁・自治体

要介護認定支援

流通

POSシステム

金融

オペレーション

リスク管理

遠隔監視システム

リリース済み製品

当社が長年培ってきた日本語処理技術、XML技術などを
活かした情報活用機能をSaaSで提供

情報活用製品

Knowledge Meister®

SuccEd®

TX1®

情報活用技術

日本語処理

自然言語処理技術

XML技術

認識技術

情報セキュリティ技術

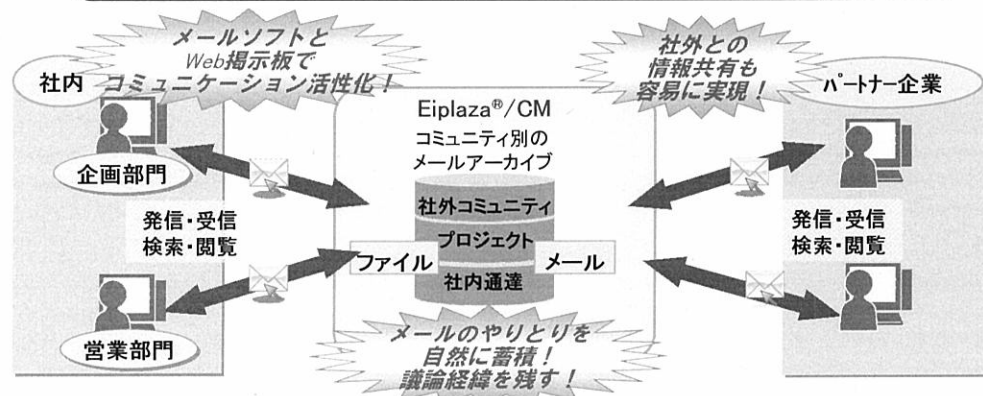
本日
ご紹介する
4つのSaaS

Eiplaza® / CM (コミュニティ)

情報共有・蓄積

機能概要・特長

- 目的に応じた情報交換の場「コミュニティ」を提供
部門を超えた情報共有を容易にし、コミュニケーションを活性化！
- ◆ メールをやりとりするだけで、自然に情報を蓄積
- ◆ パートナー企業とのコミュニケーションや情報共有も容易



Eiplaza®活用事例：研究分科会活動支援

東芝ITユーザ会

情報交換や親睦交流を目的。
急速に変化し続ける事業環境の中で、企業の枠、
業種の壁を越えて、価値ある情報を共有し、パート
ナーシップを強化。
複数企業が参加するシステム研究会を実施。

■分科会活動における情報共有(従来)

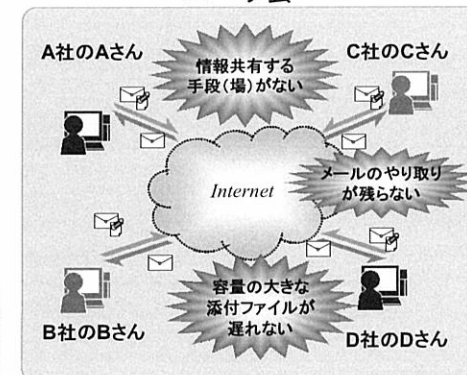
企業間での情報共有はメール

課題

- ・送信ファイルの制限(例:5M)
- ・個人のメールボックスのサイズ(例:100M)
- ・情報の整理は個人まかせ
- ・議論経緯など重要なノウハウが
会社の資産として残らない

社外との情報共有が
うまくいかない！

ユーザ会



Eiplaza®活用事例：研究分科会活動支援

～企業間の情報共有を目的にEiplaza®/CM(コミュニティ)を導入～

■Eiplaza®による情報共有(導入後)

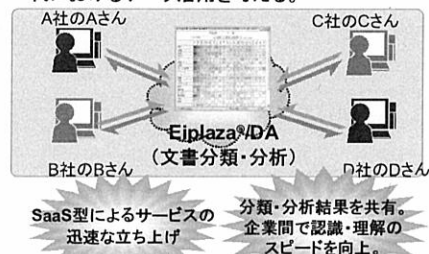
導入後のメリット

- Webベースの情報共有の仕組みを迅速に利用可能。
- Web掲示板を利用することで、メール制限に依存せずファイルの共有が可能。
- Web掲示板に投稿された情報は、メールで配信。添付ファイルではなくURLで(個人メールボックスを圧迫しない)。
- メールのやり取りを体系的に蓄積。ラベル(付箋)などで整理した内容を全員で共有。
- 研究活動の理解・認識統一を促進。

今期の研究テーマ例

情報知識・利活用の実践

大量文書情報の分類・分析を実践するクラウド時代におけるデータ活用を考える。

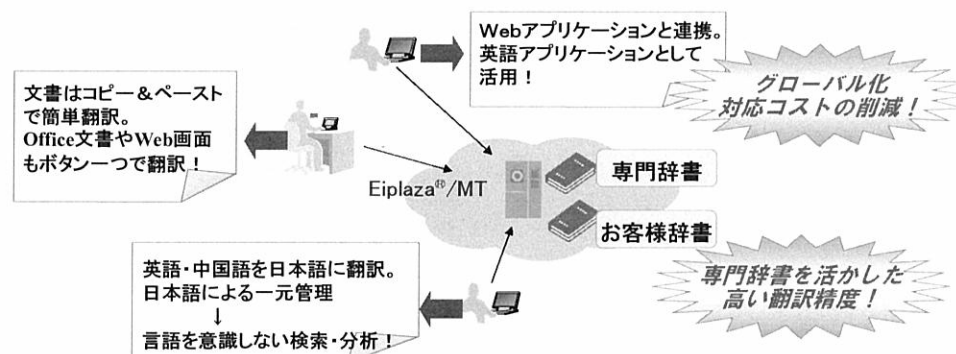


25

Eiplaza® / MT (翻訳)

機能概要・特長

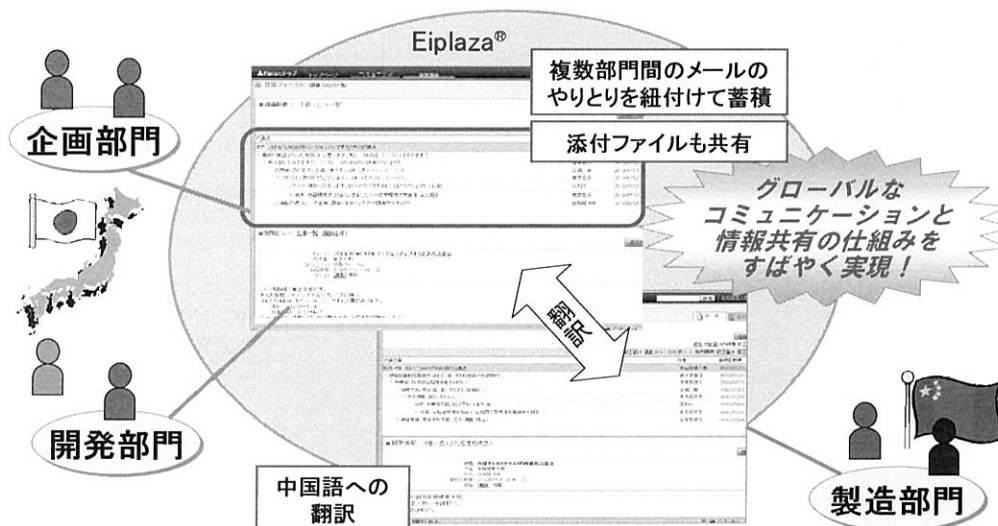
- 英語、中国語に対応した翻訳機能を提供
- コミュニケーションツールと連携することで、グローバルなコミュニケーションを推進！
 - ◆Web上のアプリに翻訳ボタンを埋め込み、簡単にグローバル化を促進
 - ◆豊富な専門用語辞書(英語46種類、中国語9種類)とお客様専用辞書の利用も可能



Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

26

コミュニティと翻訳によるグローバルなコミュニケーションの活性化



Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

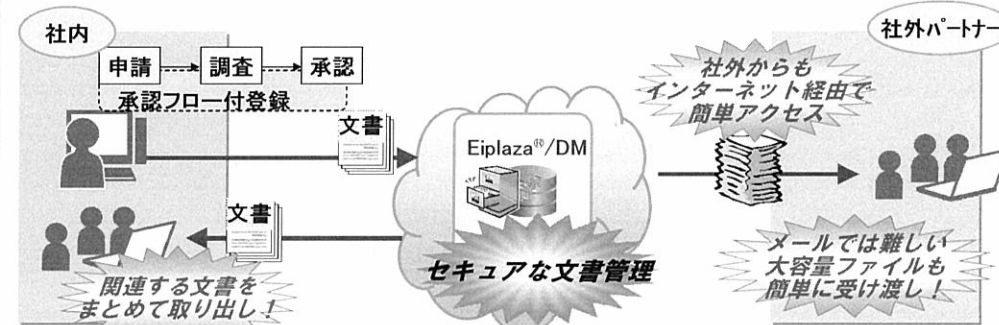
27

Eiplaza® / DM (文書管理)

情報整理

機能概要・特長

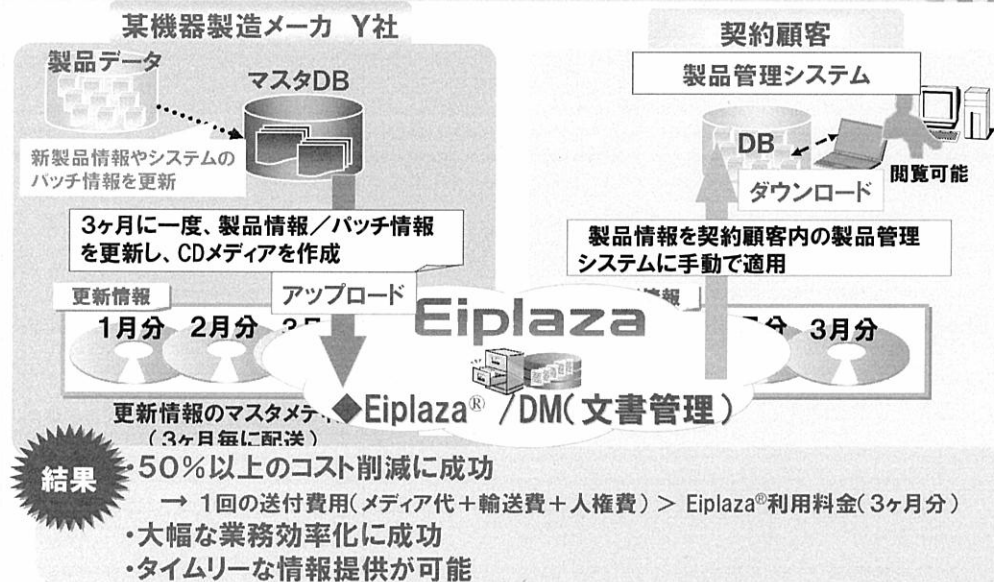
- 企業内、企業間のドキュメントをセキュアに一元管理
- 関連文書を一まとめにして管理が可能。監査対応等で一括取出しも可能
 - ◆承認フローを標準で装備
 - ◆インターネット経由で社外パートナーなど、情報共有(交換)も可能
 - ◆キャビネット/バイнда/文書という管理単位ごとにアクセス制御



Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

28

Eiplaza®活用事例：企業間データ交換



Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

29

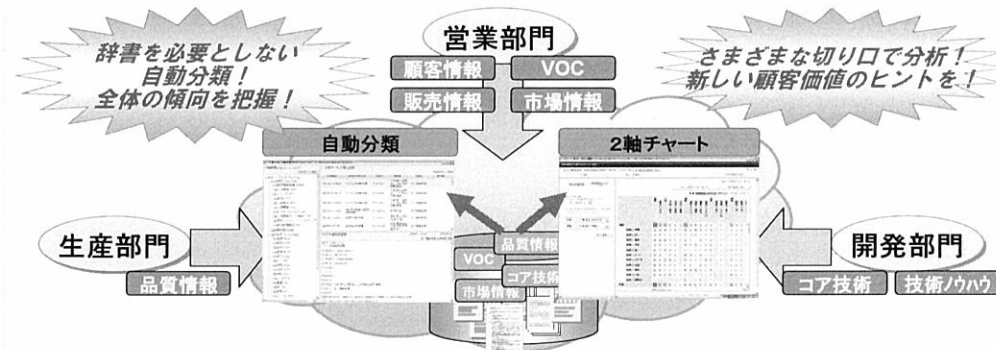
Eiplaza® / DA (文書分類・分析)

情報の整理

新しい知見の発見(分析)

機能概要・特長

- テキスト情報(顧客情報、技術情報、品質情報など)に見える化!
複数部門・複数企業からの情報を集約して分析することで、新たな知見(気づき)を促進!
◆ 大量のテキスト情報から、自動的に分類カテゴリを作成し、文書を自動分類
◆ 分類結果と数値情報を組み合わせて2軸チャートを表示
◆ さまざまな切り口による分析(分析軸の変更)、ドリルダウンによる深堀り分析が可能



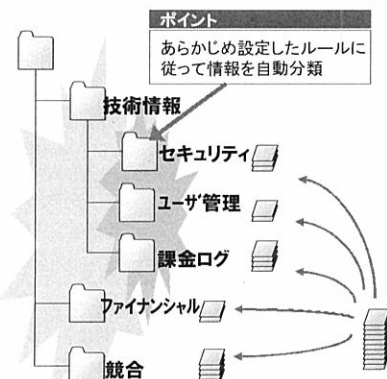
Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

30

文書分類・分析の活用イメージ

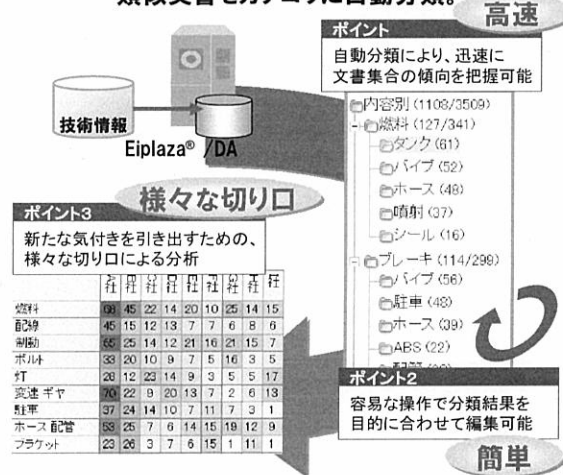
■情報の整理

あらかじめ情報を整理する軸を作成。
ルールに従って情報を自動分類。



■新しい知見の発見

特徴的なキーワードにより分類軸(カテ
ゴリ)を自動で作成。
類似文書をカテゴリに自動分類。



Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

31

Eiplaza®活用事例：保有特許の見える化支援

～効率良く特許を分類・見える化するためにEiplaza® / DAを導入～

課題

株式会社東芝

5万件の保有特許の見える化を支援する
特許分類・分析システム

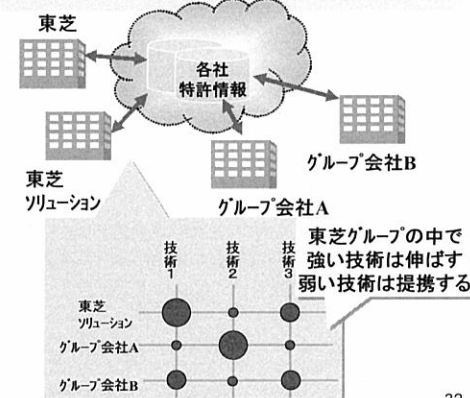
やっではいるけど、
コストと時間がか
かっている

- ・ 自社の技術力(ポテンシャル、企業力)を知りたい
- ・ どの事業に注力(開発投資)すれば良いか知りたい
- ・ どの商品や技術に注力(開発投資)すれば良いか知りたい
- ・ 譲渡・ライセンス、放棄すべき特許が知りたい
- ・ 他社の権利状況や、権利行使が行える特許が知りたい

■Eiplaza®による見える化(分類・分析)

導入後のメリット

- ・ 自社と他社のコア技術を把握。技術提携できる企業を探索する。
- ・ 競合企業の技術動向を把握。注力すべき事業領域がわかる。
- ・ 破棄すべき特許の明確化。
- ・ 権利行使の可能性がある特許の把握。



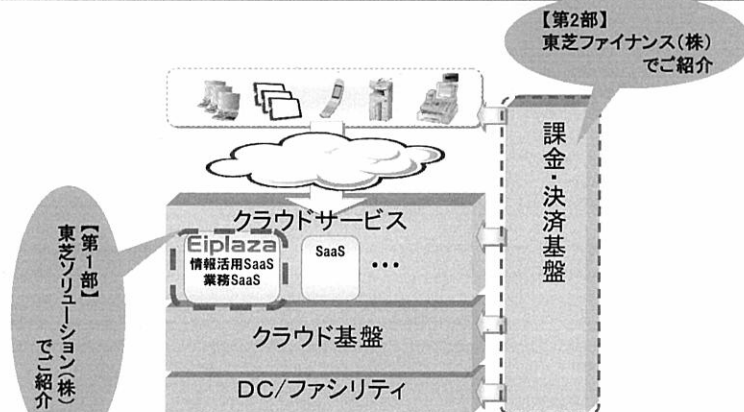
Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

32

多種・多様なビジネスにおける課金・決済基盤

今後クラウドを活用した多様なビジネスが創られると考えられ、それに合わせてサービス利用料の課金・請求なども複雑化します。

第2部では、東芝ファイナンスがファイナンス業務で培ったノウハウをベースに、複雑かつ柔軟な課金をシームレスに実現する課金・決済基盤をご紹介します。



Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

33

まとめ

変化の激しい現代において、企業が継続的に成長するためには、新しい価値を創造し、ビジネスを拡大する必要があります。

Eiplaza®の情報活用SaaSを組み合わせることで、情報活用のレベルを高め、新しい価値の創造を支援することができます。

今後もお客様の役に立つソリューションをどんどん創造していきますので、是非ご活用ください！

Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation

34

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

明日のカタチを創る力

Create Your Future

ご清聴ありがとうございました。

※「Eiplaza」、「TX1」、「KnowledgeMeister」、「KnowledgeMeister Succeed」、「The翻訳」、「The翻訳サーバ」
「Collaborative Computing」は東芝ソリューション株式会社の登録商標または商標です。
※本資料に掲載の社名および商品名は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。
※本内容は予告なく変更する場合があります。
※本資料に表記されている数値および表現は平成11年7月6日現在のものです。
※本内容は変更する場合があります。詳細は、仕様書あるいは説明書をご覧ください。



東芝ソリューション株式会社
TOSHIBA SOLUTIONS CORPORATION

Copyright 2011 Toshiba Solutions Corporation